

令和5年度第2回TAMA女性センター市民運営委員会 会議概要

開催日時：令和5年5月17日（水）10：00～11：00

場 所：TAMA女性センター 活動交流室

出席委員：（委員長）藤江美也子委員、上田いつき委員、（副委員長）小泉雅子委員、
鈴木さくら委員、千代昇委員、山本恵子委員（委員長以下50音順）

欠席委員：なし

TAMA女性センター（事務局）：西村課長（途中退出）、齋郷係長、高梨

傍聴者：なし

司 会：（副委員長）小泉雅子委員

（発言者凡例：◎委員長）

<配付資料>

なし

1. 開会

- ・西村課長より挨拶

2. 今年度の事業について

（市民運営委員）

◎漫画「ハコヅメ」のなかで、盗撮被害にあった娘に対し、母が注意をするが、警察官が「盗撮した側が100%悪い」と話すシーンがある。保護者が「まさかうちの子が被害にあうわけがない」と思うのではなく、注意喚起したい

- ・性暴力は、被害者の落ち度であるといった視点を変えさせたい
- ・育児家事に参加している夫が、増えてきており、それが普通になってきていることを発信出来たらいいと思う。市長や他のパパにもインタビューしてみたい。たとえば、「たまの女性」のなかで、パパが作ったごはんやどういう思いで育休をとったのかについてのコラムを載せたり、SNSを活用して発信したりしたい。

（事務局）

- ・市公式Twitterやラインで発信は可能。メインプラットフォームを市公式ホームページとし、「たまの女性」でURLを紹介し、まとめたものを年度末にパネル展示するなどがいいと思う

（市民運営委員）

- ・助産師さんに性や命の話の講演をしてもらえるか打診したい。その方は、病院での助産師経験があり、今はフリーで活躍されている。参加対象は、子どもを持つ親としたい

- ・包括的性教育はやらなければならないが、東京都は遅れている印象

（事務局）

- ・包括的性教育が行われる他県の例では、群馬県は全中高に講師派遣する取り組みを

続けている。また、青森県や佐賀県は、行政や医療と連携している。それぞれの地域をブロックに分け、産婦人科医を置き、保健相談や講演を行っている

- ・東京都は派遣できる人を育てている段階とのこと

(市民運営委員)

- ・各学校に派遣できていたとしても、何を教えているかが重要で、「性行為、性暴力」をテーマにしているか気になる
- ・パルテノン多摩のこどもひろば「オリーブ」(子育て支援拠点)を開設して約1年経ったが、1年の振り返り(課題や気づき)をスタッフさんにお話しいただきたい
- ・広報等、発信するものしか見ていないので、多摩センターでの子育てでどういう頼り方ができるのか、ニーズも知りたい

(事務局)

- ・子育て支援拠点の利用率は、前年度比較167%UPしており、それはオリーブができたからだ考える

(市民運営委員)

- ・今出ているテーマが「性暴力」「助産師さんの講演」「オリーブスタッフ経験談」である
- ・性暴力ポスターを学校に配れないのか

(事務局)

- ・ポスターサイズの印刷が厳しい。アイコンを並べて、QRコードから詳細のHPに促すことは可能。夏休みは子どもが特に開放的になるから、親への情報提供を行うにはいいと思う
- ・パネル展示は、テーマによって断られる可能性ある。場所は、多摩センター駅の市のスペースを活用することは可能
- ・助産師さんの講演は、日程と場所の調整を9月で行う

(市民運営委員)

- ・次回は助産師さんに何を聞きたいかの案を持ってきてください

3. その他

- ・次回の開催日の確認をした

4. 閉会